



「学びの秋、子どもたちの主体性が輝く季節に」

学校長 のむら 野村 ひかる 光

朝晩の涼しさに、秋の訪れを感じるようになりました。あれだけ騒がしく鳴いていたセミの声がやみ、代わってコオロギなど秋の虫の音が耳に心地よく響いてきます。季節の移ろいが、子どもたちの感性を静かに刺激しているようです。いよいよ「学びの秋」が本格的に始まりました。

YSF(洋光台スポーツフェスティバル)のない初めての秋ですが、各学年、学級では生活・総合の時間を中心に、子どもたちの主体的な学びが活発に展開されています。

1年生は、南公園で「秋さがし」を行いました。真夏の暑さから一転、秋の自然に触れながら、五感を使って季節の変化を感じ取る体験は、子どもたちの感性と探究心を育む大切な学びとなりました。

3年生は、洋光台や栗木町のまちに出かけ、学区内の交通安全の実態を調べる活動に取り組んでいます。今年度、本校は「交通安全推進校」として指定されており、子どもたちの視点から地域の安全を見つめ直す貴重な機会となっています。調査を通して得られた子どもたちの意見が、今後の学区の交通安全への取り組みに反映されることを願っています。

6年3組は、はまぎんこども宇宙科学館を訪問し、副館長との対話を通して、学区にある科学館の魅力を広く伝える動画を作成するプロジェクトが始まりました。自分たちの学びを地域に発信するという意欲的な姿勢に、高学年としての頼もしさを感じます。

子どもたちはそれぞれの学年、学級で、自ら課題を見つけ、仲間と協力しながら学びを深めています。まさに「自走する学び」が日々の教育活動の中で育まれていることを実感しています。

そして、12月19日には、リーディング DX 指定校としての全国公開授業を予定しています。本校の子どもたちが主体的に学び、地域とつながりながら成長していく姿を、全国の教育関係者の皆様にご覧いただける機会となります。

秋は収穫の季節。子どもたちの学びの実りが、これからますます豊かになることを楽しみにしています。



1年生 秋さがし



3年生
学区の安全調べ



6年3組
科学館訪問